

1 教育目標

(1) 本校の教育目標

児童生徒一人一人の人権を尊重し、障害による学習上又は生活上の困難に応じた専門的な教育を行う。また、安全・安心な学校生活を送りながら、一人一人の個性を伸ばし、確かな学力や健康、体力、そして豊かな人間性などの生きる力を育み、地域社会の一員として自立し、主体的に社会参加するとともに、生涯にわたって心豊かに生きていく人材を育成する。

校訓 笑顔（一人一人が輝き笑顔あふれる子を育てる。）

挑戦（夢に向かって挑戦し続ける子を育てる。）

感謝（素直に感謝の気持ちを表せる子を育てる。）

(2) 本年度の重点目標 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善 セルフマネジメントに基づく働き方の改善

(3) 運営方針

ア 一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援を推進する。

(ア) 個別の教育支援計画や個別の指導計画を活用し、指導と評価の一体化を図る。

(イ) 計画的・組織的な交流及び共同学習を積極的に推進する。

(ウ) 道徳的実践力を高めるために、言語活動、読書活動、体験的な活動等に積極的に取り組む。

(エ) 小学部から高等部までの一貫したキャリア教育の充実に努める。

イ 信頼される学校づくりを推進する。

(ア) 保護者、医療・福祉関係者、施設・事業所等関係者、地域住民等による学校評価を実施し、学校運営の改善に努める。

(イ) 保護者・地域の各関係者等との連携を深め、教育活動の充実に努める。

(ウ) 地域における特別支援教育のセンター的機能の整備・充実に努める。

ウ 児童生徒一人一人の安全・安心な教育環境の整備に努める。

(ア) 震災に対する関心を高めるとともに、健康・安全教育の推進に努める。

(イ) 医療的ケアの安全な実施体制の整備に努める。

(ウ) 専門職等（学識経験者、医師、看護師、PT、OT、ST等）との連携・強化を図る。

(エ) 食に関する指導の充実に努める。

(4) 各部の目標

ア 小学部

(ア) 基本的な生活習慣を身に付けるとともに、生活のリズムを整える。

(イ) 感じる力や考える力を育み、豊かに表現できるようになる。

(ウ) 友達や先生、学校関係者と豊かな人間関係が作れるようになる。

イ 中高等部

(ア) 基本的な生活習慣を身に付けるとともに、健康な体と心を養う。

(イ) 障害の状態や発達の段階等を的確に把握して、機能の発達を目指す。

(ウ) 地域社会の中で、豊かに生きていく力を養う。

(エ) 基礎・基本を大切にし、確かな学力を身に付けて自立を目指す。

(オ) 就労を目指した体験的な学習を行い、自ら考えて行動し、社会参加を目指す。